

投稿コーナー

俳諧雑記(二)

榊原敏子

ここ何ヶ月か「去来抄」を調べています。

「去来抄」は『猿蓑』編集時の、芭蕉、去来、凡兆の会話が長く載っています。そんなわけで久しぶりに『猿蓑』を読みました。

「一ふき風の木の葉しづまる」 芭蕉

発句、脇、第三と蕉門の連衆の去来、凡兆、史那と芭蕉との息の合ったすばらしい連句集です。連句は前の句を受けて、変化と調和をもって前に進んで展開していくものです。八句目で「めりやすの足袋」とか、九句目

「里見え初(そめ)て午の貝ふく」蕉の付けはすこい。何げない言葉でさつと眼下が開け、どこからか昼の合図のほら貝まで聞こえるさわやかな風が吹き渡るような場面の転じ方のあざやかさ、芭蕉は発句も良いけれど、付け句が実にすばらしい。で、ちよつとおかしな昔話を思い出してしまいました。

昔、父の机上の半紙を綴じた冊子に

「……午(ひる)になつても呼びに來ぬ妻」(上は忘れました。)と短歌

運動と私

増岡 法子

放送大学の保健体育実技の実習で、四十代後半より、運動に目覚める

今から二十年前に、放送大学に入りました。その当時、足の裏博士で名を馳せた平沢先生がご健在で保健体育を指導して、体育実技が盛んに行われました。二泊三日の大島での体育実技も楽しい思い出となりました。

ある日、スキーの教室参加での体育実技の単位取得ができることあり、早速、磐梯青年の家で行われる二泊三日の教室に参加しました。

私は、大陸生まれ、九州熊本育ち、雪には縁のない生活なのでスキーははじめての経験でした。わくわくしながら白銀の世界に飛び込みました。そこでインストラクターが

「無言の内はしづかなり」とか何となく周辺をまさぐっている感じのところへ、十句目

「里見え初(そめ)て午の貝ふく」蕉の付けはすこい。何げない言葉でさつと眼下が開け、どこからか昼の合図のほら貝まで聞こえるさわやかな風が吹き渡るような場面の転じ方のあざやかさ、芭蕉は発句も良いけれど、付け句が実にすばらしい。で、ちよつとおかしな昔話を思い出してしまいました。

昔、父の机上の半紙を綴じた冊子に

「……午(ひる)になつても呼びに來ぬ妻」(上は忘れました。)と短歌

サークル案内

【同窓会】

6月 同窓会会報さくら草発行

7月 日帰り親睦旅行を計画

詳細は掲示板にてお知らせします。

どなたでも参加できます。お待ちしています。

【サークルおみや】

サークルの活動を通じて親睦を深め、お互いの個性を尊重し、豊かな人間関係を形成することを目的とする、最も歴史のある団体です。

・7月4日(土) 埼玉学習センター8階で14時から「オペラ鑑賞(「道化師」予定)」と「9月合宿内容の検討」。

・8月22日(土) 埼玉学習センター8階で14時から「下期活動計画の策定」と「9月合宿の詳細を提示」。

【中国語サークル】

当サークルは面接授業講師の崔先生の指導で実用的中国語の基礎だけでなく、幅広い中国事情の習得や中国語歌唱の練習にも力を入れ語学力向上を計っています。

初心者歓迎いたします。

初心者歓迎いたします

3月3日 木曜日

【古文書の会】

6月20日(土)

6月27日(土)

7月11日(土)

詩歌・川柳

俳句

新緑に 木陰求めて 影二つ

朝まだき 人待ち顔に 花菖蒲

露草の 触れなば落ちる 涙顔

(放送大学前理事)

【熟年会】

会員の交流を深めるためのいろんな活動を行っています。

①勉強会 6月9日ポラントア(講義と実習)、7月14日学習情報交換会

②パソコン教室 毎週火曜日(第2火曜日及び試験期間中を除く)

③イベント 6月中に博物館、美術館巡りを予定

川柳

大類とく江谷間(たにあい)にうる おうばかり 青田かな

宮参り 薫風稚児をくすぐりて

四倉 光

病院の待合室にて詠める

小児科で 名前を呼ばれ泣きだす子

連句

平成二十一年四月十四日

連衆 熟年会会員

花吹雪の巻(表六句)

発句 花吹雪 まふは 天女の幻か とく江

脇 まぼろし覚ます

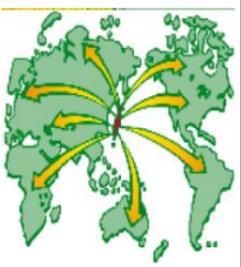
へたなからおけ 良雄

第三 騒音もどこ吹く風と舟をこぎ 和彦

第四 ソマリア沖へ 海賊退治 二千雄

第五 未来への 宝さがしの地図いずこ 山絹

第六 何処へ行きたや 夫婦の旅を 忠雄



Nさんの日記

4月18日 筑波宇宙センター特別公開で探査衛星「いぶき」について講演を聞くことができました。

宇宙食の試食や、ロケットパンはJAXAの文字でチョコあんクリームとてもおいしく頂きました。

5月16日 東武健康ハイクングに参加しました。鷺宮・南栗橋間で葛西用水路ポピー畑は色とりどり、咲きほこっていました。

匿名 N生

学外情報コーナー

芭蕉の通を目指す講座

6月29日(月)〜7月4日(土) 全6回

各13時から16時まで

・越谷市中央市民会館で

・講師 加藤雅喜先生

「野ざらし紀行」「鹿島詣で」「笈の小文」「更科紀行」「嵯峨日記」を声を出して読み、解説があります。

【資料代】千五百円当日会場

【申込先】

FAX〇四六五一六四一

〇五六七

郵送

〒二五九一〇三〇三

湯河原町土肥一七一九

アデニウム湯河原七〇五

加藤雅喜先生まで



毎週火曜日、8階講堂にて、午前中のひとときを和気あいあいと楽しく汗を流しておきます。転倒予防にもつながる、負担のかからないきれいな歩き方を目指しています。

7月には歓迎会を兼ねた納涼親睦会を計画しております。どうぞ、どなたでもお気軽にご参加ください。

編集委員会からのお知らせ

○学生新聞の原稿を募集しています。詩歌は百字以内、随想等は八百字以内。

○編集委員(ボランティア)を募集しています。

・新聞編集に興味のある方

・新しい事に挑戦したい方

参加をお待ちしています。

連絡先

郵送 埼玉学習センター

気付け 学生新聞編集委員会

メール wakaf35@yahoo.co.jp 若松 まで

編集後記

風薫る5月と言いたいところですが、天気予報は毎日、真夏日真夏日と言っています。地球温暖化のせいでしょうか。高温続きと言うのに、季節はずれの新型インフルエンザが流行っています。埼玉でもとうとう患者が出て、いよいよ我が身にも迫ってきたという感じがします。

外出時はマスクをと言われて近所の薬局に行ってみました。どこも品切れです。せめてうがいや手洗いの励行でしのぐしかありません。

学生新聞も第2号発行の運びとなりました。

新聞は新鮮なニュースが命です。学生や同窓生の皆さまからも情報の提供や投稿などのご協力をお願いいたします。